

Heartful Day

北条高校人権委員会
平成30年3月14日
No. 119

今年1年間を振り返って

年間10回、朝のSHRの時間に、私達人権委員が4～5分程度の人権に関する内容の全校放送を行い、プリントを配布している「ハートフルデー」。今年度は5月10日にスタートして、いよいよ最終号となりました。今回は、今年度の「ハートフルデー」を振り返ってみたいと思います。

先日、SHRで「特に心に残ったものと、その理由」についてアンケートを実施しました。御協力ありがとうございました。集計結果は下記のとおりです。

平成29年度ハートフルデー 特に心に残ったもの 集計一覧表

回数	発行日	No.	内 容	人数
第1回	5/10	110	6/1人権映画鑑賞会実施 鑑賞映画「あん」について	27
第2回	6/14	111	人権映画「あん」を鑑賞して	118
第3回	7/14	112	「WE LOVE北条宣言」の実践	6
第4回	9/20	113	7/26松山盲学校の「オープンスクール」に行ってきました	4
第5回	10/18	114	外国人の人権を尊重しよう	7
第6回	11/15	115	民族差別について考えよう	9
第7回	12/13	116	バリアフリー	13
第8回	1/17	117	「いじめSTOP愛顔の子どもフォーラム」に参加して	10
第9回	2/14	118	ホームレスの人たちのことを理解していますか	49

「心に残ったものの」総数が一番多かったのは、やはり2時間の映画鑑賞後に放送した第2回6/14発行NO.111でした。

アンケートには右のような一言のものから、下のように具体的な内容が書かれてあるものまであり、映画を見た時のいろいろな思いが伝わってきました。

「心に残った」「感動した」
「とても分かりやすかった」
「考えさせられた」
「差別がはっきり分かるものだった」
「いろいろなことが心に残った」



「全然知らなかったハンセン病について知ることができた」
「病気で隔離されている、された人がいるという現状を知ることができた」
「病気の人の辛さや大変さを感じることもできた」
「差別をされている人の気持ちがよく分かった」
「差別がいかに残酷なものか、改めて認識することができた」
「より深く人権問題を理解することができた」
「共感できること、理解できたことが多かった」
「気付かされたことがたくさんあって感動した」
「いろいろな人の意見を聞いてもっと考えが深まった」



そして、右のような前向きな回答もありました。

次に「心に残ったものの」人数が多かったのは、第9回2/14発行NO.118でした。この「ホームレスの人たちのことを理解していますか」を選んだ理由が多かったのは、右の3つです。

まずは、正しいことを知り・理解する。そして、そこから「誤解が解けた」「偏見で見えていけないと思った」という気持ちにつながるものが分かりました。「現代社会の厳しさを知った」という回答もありました。

「自分で判断して行動することの大切さを感じた」
「自分達が変わっていかないといけないと思った」
「徳江さんが強く生きていた」「仕事を頑張っていた」
「徳江さんの頑張る姿が好きだった」
「映画を観て、自分も頑張りたいと思った」

「知らないことがたくさんあった」
「いろいろなことが理解できた」
「正しいことを知ることができた」

2月15日の人権委員会では、「ハートフルデーの放送を担当して学んだこと」として、以下のような意見がありました。

<人権委員としてハートフルデーの録音を体験して思ったこと>

とても緊張した。

相手に伝わりやすい工夫をしたいと思った。



思ったより声が小さかったり、聞き取りにくかったりして、以外と大変な仕事なんだ、ということ学んだ。

かまないように気を付けるだけでなく、きちんとしたイントネーションで伝えるために、何度もやり直した。

<人権委員としてハートフルデーの担当をして、気付いたこと>

人に伝えることの大切さ

学校にもスロープがあること

自分が任された仕事を必ずこなすことの大切さ

意識することのなかったこと、知らなかった人権問題について考える貴重な時間になった。

理解が深まり、差別された人の気持ちに寄り添えた気がする。

放送した内容以外にも、人権に関する問題は大量にあると思う。

言われてみればそうだな、という話題、今まで知らなかった話題があり、世の中には知らなければいけない事がたくさんあると思った。

ハートフルデーを通して、誰かの人権意識が変わってくれたらいいと思った。

今まで深く考えたことのないテーマを4皆で共有でき、そのことを紹介することができた。

自分の思いの中に、人種差別があることが分かり、知識が無いことは恥ずかしいことだと思った。

ハートフルデーの放送を担当して一番強く感じたことは、正しい知識を身に付けることの大切さです。知識が無ければ、人権問題に直面したときに、それを正していくことはできません。それどころか、人権問題に気付かないかもしれません。私達は、人として学ぶべきことが、『まだまだたくさんある』と実感しました。

今回のアンケートで、多くの方が、ハートフルデーを通していろいろなことを感じたり、考えたりしてくれていることが分かり、嬉しい気持ちでいっぱいです。今後も、少しでも多くの方が正しい知識を身に付け、人権意識が変わっていくように、人権委員は人権に関する話題を情報発信していく予定です。

来年度の放送もお楽しみに！ 一年間、ありがとうございました。

《 担当：1年3・4組 人権委員 》

